

## 南関東ブロック会議（10月30日（水）・東京都：京王プラザホテル）

参加者は約230名。武田哲一東京都専修学校各種学校協会（以下、東専各）副会長の司会により、山中祥弘東専各会長が開会ならびに開催県を代表して歓迎の言葉を、岡本比呂志全専各連副会長・南関東ブロック長、福田益和全専各連会長がそれぞれ挨拶を述べた。続いて来賓の濱田良廣東京都生活文化局私学部長から挨拶が述べられた後、来賓、行政関係者、東京都私学財団、全専各連、都県協会等会長の紹介が行われ本会議に入った。金城太一文部科学省専修学校教育振興室長から、「経済財政運営と改革の基本方針2019」など閣議決定された国の方針や、令和2年度専修学校予算概算要求、文部科学大臣認定制度である「職業実践専門課程」及び「キャリア形成促進プログラム」の申請手続き、私立学校法の一部改正等について資料に従って説明が行われた。続いて、全専各連事務局からの中央情勢報告として、6月の全専各連理事会・総会で承認された事業計画を報告するとともに、団体としての今後の方向性について説明。また、高大接続改革や厚労省施策等、国の動向を注視することへの必要性や、職業実践専門課程、高等教育の修学支援制度に関連した情報公開など各種制度への積極的な対応を呼び掛けた。各都県行政担当者からは「各都県行政報告」をもとに専修学校各種学校毎の学校数及び設置状況、生徒数が報告され、専修学校各種学校に対する振興策が報告された。最後に各協会会長から挨拶が行われ全体会を終了した。休憩後、専門学校部会と高等課程部会による分科会が開催された。第1分科会（専門課程・各種学校等分科会）では、「高等教育負担軽減（高等教育の修学支援制度）」、「高専連携（学生募集時期の見直し）」、「留学生受け入れ対応（文部科学省・出入国在留管理庁）」の3テーマをもとに、岡本比呂志南関東ブロック長をコーディネーターとして、文科省金城室長、各協会会長、関口正雄全専各連常任理事・東専各副会長らがパネリストとして登壇。各テーマの設定された論点と参考資料をもとに活発な意見交換が行われた。「高等教育負担軽減（高等教育の修学支援制度）」では専門学校の期間要件の確認申請・結果の割合について、また、制度周知の観点から高等学校教員、高校生、保護者の理解が十分か否か等について、「高専連携（学生募集時期の見直し）」では、高大接続改革に関連して学生募集時期の見直し、高等学校との連携について、「留学生受け入れ対応（文部科学省・出入国在留管理庁）」では留学生の在留許可・在籍管理、専門学校を卒業した外国留学生の就職先の拡大等について意見交換が行われた。

第2分科会（高等課程分科会）では、「チーム高等専修学校の取り組み－生徒募集の強化と格差のない財政支援を目指して－」と題して、高等課程を有する専修学校中心に約30名の参加者により分科会が行われた。河村和彦文部科学省専修学校教育振興室専門官臨席の中、清水信一全専各連常任理事・全国高等専修学校協会会長が司会・進行を務め、事例報告をもとに高等専修学校が一丸となって生徒募集の強化と格差のない財政支援に向けて活発な意見交換が行われた。

各分科会終了後、再び一同に会して分科会報告が行われた。最後に清水裕一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会会長が次期主催協会挨拶を行い、関口全専各連常

任理事・東専各副会長が閉会の言葉を述べて会議を閉会した。

閉会后開催された交流会では、山中東専各会長による開会あいさつ、続いて山谷えり子参議院議員、赤池誠章参議院議員が来賓あいさつを述べ、都県学校関係者による賑々しくも和やかな交流の後、全日程が終了した。